

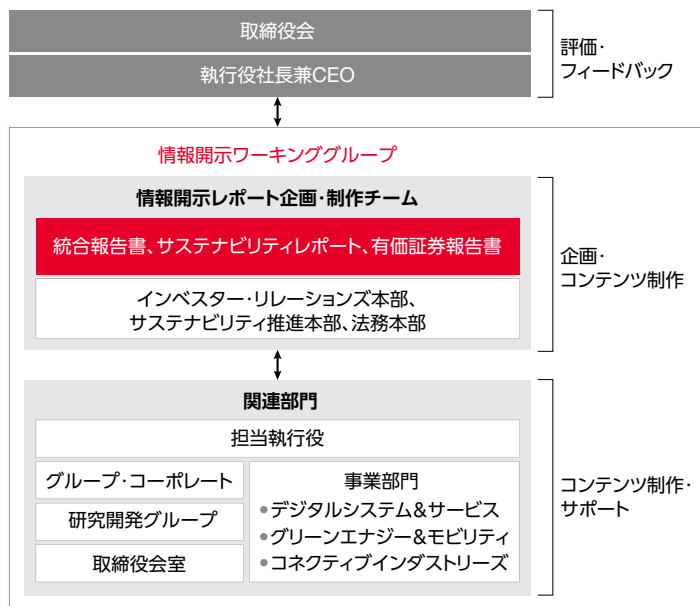
編集方針/Our Reporting Universe

編集方針

日立の統合報告書は、ステークホルダーの皆さまに日立のビジネスモデルへのご理解を深めていただくとともに、対話を通じ、さらなる企業価値の向上と価値協創への好循環につなげていくことを目的に制作しています。2024年版では、価値創造プロセスに基づき、デジタルセントリックな社会イノベーション企業をめざす日立の経営戦略・施策について要点を絞りご説明しています。日立のさらなる成長を実現する「Value Creation」、それを支える「Business Sustainability」、そして、企業価値創出の源泉である「Corporate Governance」の3つのパートで構成しています。

なお、編集にあたっては、IFRS財団が推奨する「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省の「価値協創ガイダンス」などを参考にしています。

制作体制



報告対象範囲など

対象期間: 2023年度(2023年4月1日~2024年3月31日)

※2024年4月以降の活動内容などを含む。

対象組織: 株式会社日立製作所および連結子会社

会計基準: 別途記載がない限り2013年度以前は米国会計基準、2014年度以降は国際財務報告基準(IFRS)に準拠しています。

将来の見通しに関する注意事項

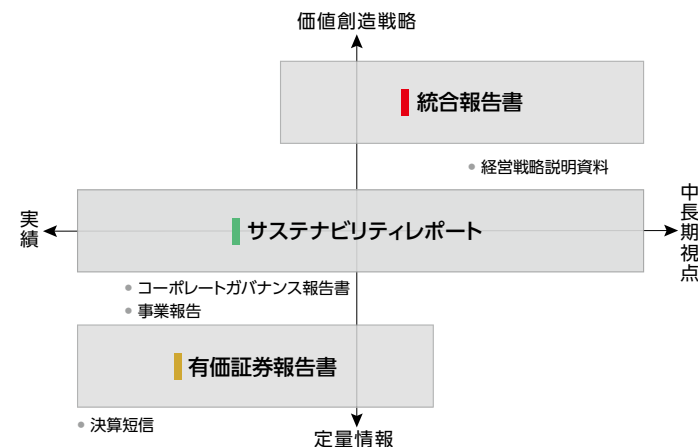
本報告書における当社の今後の計画、見通し、戦略などの将来予想に関する記述は、当社が開示時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などの結果は見通しと大きく異なることがあります。

※記載の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

Our Reporting Universe

日立は、コーポレートレポートングとして、統合報告書、サステナビリティレポート、有価証券報告書の3媒体を公開しており、それぞれ内容(定量情報~戦略情報)と時間軸(実績~中長期視点)で開示を棲み分けています。

特に、同日公開している統合報告書とサステナビリティレポートは、併せてお読みいただくことで、経営戦略に加えESGの取り組み進捗・データをご確認いただけます。その他、補完情報となる当社の各種Webサイトもぜひご覧ください。



統合報告書



想定読者

機関投資家を中心とした
ステークホルダーの皆さま

サステナビリティレポート



想定読者

ESG投資家を中心とした
ステークホルダーの皆さま

有価証券報告書



想定読者

株主・投資家の皆さま

Webサイト

[経営戦略\(中期経営計画\)](#)

[決算情報](#)

[Hitachi Investor Day](#)

[事業報告](#)

[コーポレートガバナンス報告書](#)

[情報セキュリティ報告書](#)

[ITパフォーマンスレポート](#)

[ESG関連方針・ガイドラインなど](#)

[マルチステークホルダー方針](#)

[日立グループについて](#)